

第13回月山の四季フォトコンテスト 入賞・入選作品

テーマ／月山の四季
審査員長／辰野 清 氏
応募総数／278点

(社) 日本写真協会会員
日本風景写真協会指導会員

【総評】

昨年に続き今年も多くのお応募があり、この地域の潜在的な写真熱を感じながらの審査でした。今年の傾向としては風景、人物スナップ共に作品のレベルが一気に向上したと思われる点です。上位入賞作品はどれも全国レベルに達している内容でした。その傾向には理由があります。月山を有する西川町は、冬場の6mにも及ぶ雪資源やそこに息づく伝統文化の根底があり、この地域でしか見られない光景が凝縮しているからだと考えています。これは全国から見ても大いに誇れる自然、文化資源でオンリーワンの強さがあります。「月山の四季フォトコンテスト」を繰り返すことでその魅力が徐々に開化されてきたのでしょう。ここ数年は人物スナップも面白く、祭りやイベントばかりではなくもっと身近な感情を写す作品もお応募されるようになり、とてもいい傾向だと思っています。風景も引き続きまだ見ぬ自然が残っているので期待です。来年のお応募も発想をつねに巡らし、地域性豊かな感動を伝えてほしいと願っています。コンテストの成長が見られた今年の審査にとっても満足でした。

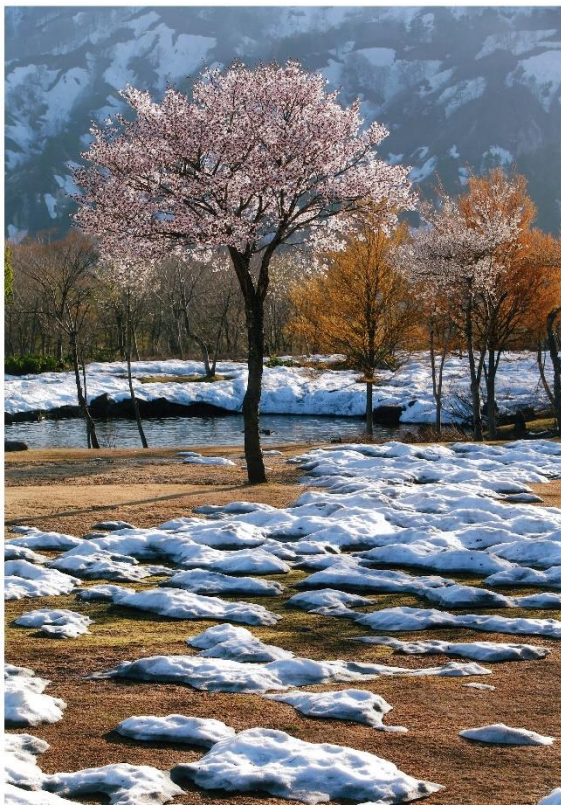
辰野 清 (たつの きよし) 氏 プロフィール



1959年長野県岡谷市生まれ。1987年長男の誕生を期に、風景写真の撮影を本格的に始める。1991～2002年にかけて、第13回「日本の自然」写真コンテスト最優秀賞、長野県一賞受賞、月桂冠「花鳥風月」フォトコンテスト、フジフォトコンテスト、二科会公募写真展、信州写真展、県展等で上位入賞、他多数。98年と02年には、隔月「風景写真」誌フォトコンテストにて、年間最優秀賞受賞、この5年間で最優秀賞9回を含む57作品入賞。03年に第11回「前田真三賞」受賞、04年にはフリーランスとなり、《自然泰フォト》辰野清写真事務所を設立。08年には隔月「風景写真」誌フォトコンテスト審査員(テーマ部門)を任せられ、その後も現在に至るまで、毎年ごと隔月「風景写真」誌フォトコンテスト審査員を務める。イベントトークショーや執筆活動を行う傍ら、自身の作品の写真展も開いている。

審査結果

審査会:令和元年12月10日(火)



西川町長賞

「春の足音」

石原 三雄氏 (宮城県角田市)

[選評]

弓張平公園の春が凝縮された作品です。なかでも午後の低い光を満身に受けて咲く山桜の輝きに、待ちわびた春の足音が確実に聞こえてきますね。また温度感を表現するために、背景の雪形や足元の残雪の分量もいい脇役となりました。西川町賞を誇れる希望に満ちた作品です。



月山朝日観光協会長賞

「雪壁」

寺島 昇氏 (宮城県仙台市)

[選評]

姥ヶ岳の斜面を滑らかな起伏と鋭い稜線のエッジで描いています。すべてが朝の光の角度によるものでブルーの色使いも絶妙です。またわずかに見えるシュプールも自然との共存の証。望遠レンズで光と影がシンプルに構成されたので、造形表現としての説得力も生まれました。



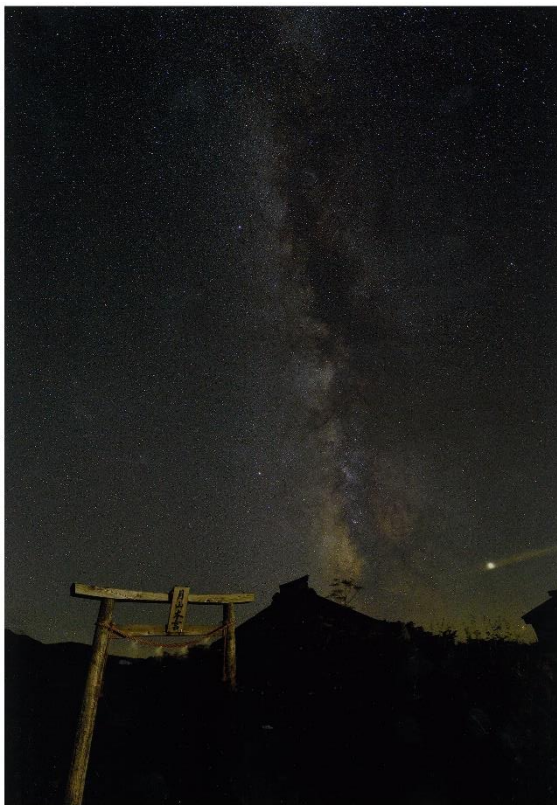
西川町商工会長賞

「最高の雪遊び」

阿部 大介氏（山形県西川町）

[選 評]

弓張平の斜面を利用したソリ遊びのようですが、大人も子供も一緒になって楽しんでいる姿に癒される写真です。皆さんの表情もとても豊かで、童心に帰って私も滑ってみたいと思いました。手前に大きく入れた女の子の効果で、一気に滑り降りるソリ遊びの勢いも描けています。

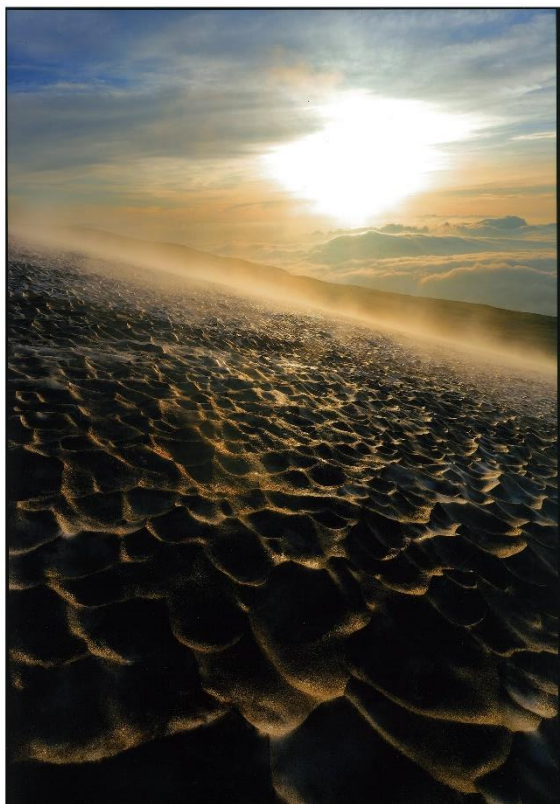


佳 作「星空に祈る」

郷野 幹雄氏（山形県東根市）

[選 評]

月山の弥陀ヶ原神社の鳥居と背景の天の川を合わせることで、信仰の対象として崇拝された悠久の時間が流れています。神社の棟も意識した構成も見事。八合目の闇夜に浮かび上がる鳥居の露出も自然で、神妙な雰囲気伝わります。



佳 作「旭日」

富樫 辰也氏（山形県山形市）

[選 評]

大雪城のスプーンカットが黄金色に輝き、ピークを迎えた朝のドラマに感動です。陰影を強く出す低い逆光での撮影なので被写体の魅力を十分に引き出しています。8月半ばにこの残雪量とは…月山の自然の雄大さを見事に抽出した光景です。



佳 作「夏スキーの月山花」

飯沢 守氏（山形県山形市）

[選 評]

姥沢のゲレンデを彩る夏スキーの華やかさにワクワクしますね。表面的にも面白く、望遠の圧縮効果を使ったパターンとしての完成度も高いです。また上部の湧き雲や光の陰影を加えることで写真のメリハリが生まれ、そこからは多くの歓声が聞こえてくるようです。



佳 作「月夜のウサギ」

前澤 美智子氏（山形県天童市）

[選 評]

志津の「雪旅籠の灯り」のワンシーン。丁寧に作られた雪のウサギがとても可愛らしいですね。日本有数の豪雪地帯ならではのイベントで、雪を身近に育むなかで人々の温かな想いが伝わる光景です。ライティングも絶妙で肅として安堵の空間を感じました。



佳 作「難行苦行」

海野 裕氏（山形県寒河江市）

[選 評]

湯殿山神社の伝統行事「火渡り神事」です。追い立てるかのように一心不乱に祈ることで、心の迷いを除する修行者の姿が印象的です。音を立てて崩れるやぐらの音や、燃え盛る炎の音が写真から伝わってきます。炎に囲われた撮影のポジションも適切でした。



入 選「草紅葉」
田村 勲氏 (新潟県新潟市)



入 選「志津リゾートチルドレン」
武内 幸一氏 (山形県山形市)



入 選「春の目覚め」
増川 満氏 (山形県河北町)



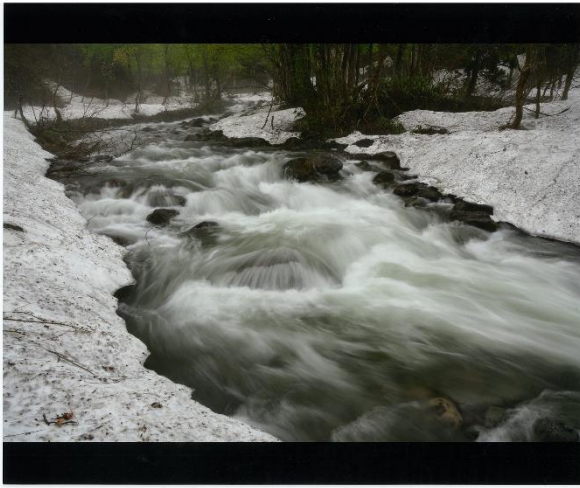
入 選「ラ・フランスの咲くころ」
井上 英昭氏 (山形県中山町)



入 選「終焉の刻」
佐藤 潔氏 (山形県天童市)



入 選「勇壮な舞」
鈴木 清氏 (山形県中山町)



入 選「春の訪れ」
結城 勉氏（山形県山形市）



入 選「モルゲンロート」
芳賀 長悦氏（山形県寒河江市）



入 選「夕べに漕ぐ」
川越 久雄氏（山形県寒河江市）



入 選「初夏ブナ林」
佐良土 眞理氏（山形県山形市）



入 選「弥陀ヶ原湿原」
齋藤 新一氏（山形県鶴岡市）



入 選「地藏池の晩秋」
武谷 捷夫氏（山形県鶴岡市）



入 選「里の春」

荒崎 節夫氏（栃木県那須塩原市）



入 選「渡河作戦」

及川 剛司氏（宮城県多賀城市）



入 選「早春」

椋沢 敬子氏（新潟県新潟市）

【作品展示会の開催予定】

令和 2 年 1 月 7 日（火）～1 月 15 日（水）西川交流センター2F ギャラリー（西川町間沢 280）

1 月 15 日（水）～1 月 31 日（金）霞城セントラル 1F ギャラリー（山形市）

1 月 31 日（金）～2 月 13 日（木）天童市森林情報館もりーな天童 1F（天童市）

2 月 13 日（木）～3 月 5 日（木）荘内銀行山形営業部 1F ロビー（山形市）

3 月 5 日（木）～3 月 26 日（木）山形空港ビル 2F 多目的ホール（東根市）

3 月 26 日（木）～4 月 9 日（木）村山総合支庁 1F ギャラリー（山形市）

※1/15、1/31、2/13、3/5、3/26 については、搬出及び次会場への搬入となります。